

学校における環境学習の実態についてのヒアリング調査結果（一部抜粋）

- ヒアリング対象：平成30年度環境学習モデル校のうち、小学校3校、中学校3校
- 調査期間：令和元年6月～7月

ヒアリング内容	学校からの意見	現状及び課題	
推進に環境教育について	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目との関連付けや授業の進め方などがわからない。 ・新しいことをやろうとすると、どうしていいかわからない。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマづけや各教科との関連付けが難しい。（これは理科の〇〇に対応するなど） 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規取組内容の検討や、取組の進め方について苦慮している。 ・他の教科との関連づけで苦慮している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規取組や、取組の進め方を補助する仕組みの構築。 ・環境教育と各教科との関連性についての整理。 	
協働取組について	<p>民間団体等との繋がり（出前講座等）</p> <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繋がりはない。 ・お芋掘りで地域の方と協働している。 ・出前講座等の案内などはあるが時間的にやっている暇がない。 ・地域団体とビオトープの管理及びビオトープを活かした学習で協働している。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繋がりはない。 ・地域の方が話に来てくれる（地域の昔の話等） 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校間で、地域の方や民間団体との関わりに差異がある。 ・民間団体が実施する出前講座等は、通常授業の時間を圧迫するため、学校における実施は比較的少ない。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校間における民間団体等との繋がり差異解消に向けた仕組みづくり。 ・環境教育関連団体等のリスト化及びその紹介体制の構築。 	
環境教育で教材	環境教育教材の利用	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生でのみ利用・・・2校 ・4～6年生で利用・・・1校 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生でのみ利用・・・2校 ・1年生及び3年生で利用・・・1校 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布時点の学年（小学校4年、中学校1年）でのみ利用している学校が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布時点の学年以降においても利用されるような教材・仕組みづくり。
	現状の教材のほかにあったら便利な教材	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員用教材（赤字で答えや詳細が書いてあるもの） ・デジタル教材（動画等） <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材（Power Point、グラフなど） 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員用の教材やデジタル教材の不足。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員用教材（赤字説明）やデジタルデータ（Power Point、グラフ等の画像データ等）の新規作成。
その他	その他・全般	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員向け研修の新規設立。 ・体験学習場所のリスト化及びその情報提供。 ・講師のリスト化、人材確保。 	